

新宮山彦ぐるーぷ第1867回

深仙宿小屋の壁・増床部塗装と第一次窓据付工事 及び南奥駆道(太古ノ辻)天狗山付近)の笹刈整備

◇実施日：平成28年4月10日

◇参加者：青木宏充(1泊2日)、松本吉殖、畑林秀実、坂口秩巨、

梶野照雄(以上日帰り)

5名。

4月10日(日) 晴れ時々曇り

朝5時にローソン磐立店に集合。松本車(坂口同乗)、畑林車2台で釈迦ヶ岳登山口へ出発。梶野さんに登山口8時30分に来てと言ったので、ゆっくり走り7時50分に着いた。

私だけ足が遅いので胴縁と窓枠を持って出発し10時20分千丈平着。捲き道を通り深仙宿へ歩くが、青木さんが笹を刈ってくれていて、道がわかりやすく大変歩きやすくて感謝。

10時48分深仙宿着くと、前泊の青木さんが私を迎えてくれて荷物を置いて5分したら、松本・坂口さんが90mm×60mmの柱と道具類を、梶野さんはマット類(大きな荷)を持って到着。休む間もなく、入口ドア左側のトタンを剥がし作業にかかり梶野さんは、小屋内の掃除と壁のペンキ塗り。

青木さんは、12時前に沖崎ぐるーぷと合流すると言って出発。私達は、昼食を30分で食べて作業をして、窓枠を取付けて外壁トタンを仮止めし、14時に作業を終わって片付けをして、14時20分に深仙宿を出発。

お堂の上の道で坂口さんの携帯が鳴って通話、深仙宿は携帯不通と聞いていたのに、新たな通話箇所が判った。

梶野さんと登山口駐車場で16時30分に別れ、自宅に19時05着。

(記 畑林)

前日、行仙宿へ行く途中で前鬼口の「かどや」裏に青木さんがデポしたマット類を回収、深仙宿小屋へ荷上げのため、帰ってから荷造りし直して車に積み込む。

午前8時10分、登山口着。松本さんと坂口さんが待っていてくれた。90×60mm、長さ180cmの柱を持っていくというので、用意した肩掛けベルトを取り付ける。両名は先に出発、荷造りを済ませ出発するが、100mほど行ったところでタオルを忘れたのに気づき引き返す。荷造りに時間がかかったのと、忘れ物とで30分程遅れてしまった。



登山口で



古田の森で



深仙宿小屋到着

深仙宿小屋に11時過ぎに到着。外壁波トタンを剥がす工事が始まっていた。止めてある傘釘がなかなか抜けず、一枚を取り去るのに20分近くかかった。青木さんは南駆道(持経宿)前鬼)の点検巡視班と合流の為、11時45分に太古の辻へと出発した。窓工事は松本さん達にお任せして塗装を始める。マスキングテープを貼って、昨年塗り残した壁の最下部を塗る。苦勞して波トタンを取り去ると、柱にはホゾ穴があり落書きも多数みられ、廃材であることが伺い知れた。

窓枠の据付位置が決まったところでお昼を少し過ぎていたので、塗装のため外に出していた増床部に座って昼食を摂る。



取付けの窓枠



波トタンを剥がす



塗り残しを塗装

松本さんと知り合いのようで、100 km マラソンや奥駈トレイルランにも参加すると話してくれた。



窓取付け準備



増床部に塗装



取付け完了



ようやく剥がれた



窓枠の取付け位置決め



標識を付け直し

食後、小屋西の外れた標識を付け直し、残りの作業を始めた。松本さんは窓枠の取付け、私は増床部の塗装にかかる。13時頃、トレラン姿の男性が「松本さん」と声をかけてきた。

窓取付け準備 増床部に塗装 取付け完了
 塗装は10分ほどで終わり、窓工事の手伝いをする。
 窓枠の上下に補強材を入れて工事は終了。外した外壁波トタンを元の位置に仮止めした。次回は、内壁を切除しガラス戸嵌め込みと2個目の窓を据付予定。



トレランの男性



補強材の加工



補強材取付け



塗装した増床部



外壁を元に戻す

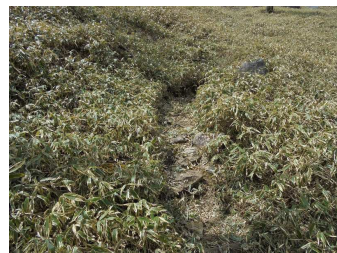


下山前に

深仙宿小屋に16時30分着。気温13℃。外に、テント2張り。小屋内は誰もいない。20時30分就寝。



小仲坊到着



笹刈後の状態



ほぼ乾燥した増床部を小屋内に戻し、荷物を集めて下山準備、14時20分に小屋を離れた。

08:10 太尾登山口 08:40→10:45 千丈平 10:49→11:15 深仙宿小屋(昼食、作業) 14:20→16:40 太尾登山口

(記 梶野)

南奥駆道(太古ノ辻く天狗山付近)の笹刈整備

4月9日(土) 晴れ

久しぶりの 30kg近いザックでの太古ノ辻までの急登は、ツライ(涙)。こんな時に限って 10回以上前鬼から上っているのに、初めて沢に水がゴーゴー。渡れる石は、遠くザックも重いので、ピョーンてな感じでは無理。片一方の足を仕方なく水の中へ。途中、太古ノ辻手前の笹刈もしたので、太古ノ辻着が11時30分。小仲坊を出てから3時間30分。

そこから、ザックを置いて、天狗山まで笹刈。

石楠花の尾根は張り枝がすごい。ここも人が通れる範囲で伐採。

4月10日(土) 晴れ時々曇り

6時起床、気温3℃。朝食後 中のマットを手直ししたり 囲炉裏を改造したりして皆を待つ。 10時 まだ、誰も来ない。 10時30過ぎに畑林さんを先頭に3人到着。『梶野さんは?』

ずくずくと後。【へっ?】11時過ぎに到着。 持ってきてもらったマット類の荷物を受取る。 11時45分小屋発。12時10分太古ノ辻着。持経宿からの点検巡視班は、待てど暮らせど誰も来ない。待ち切れず、南へ行く登山者に言付けてして、13時30分下山。

小仲坊には15時半前に到着、川島さんが待っていたので、とりあえずゲートまで車を取りに行く。

(記 青木)